

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【令和2年度】

主管課名(担当名)	水産加工振興センター(水産加工振興センター担当)		
事務事業名	水産加工振興センター整備事業	事業番号	10753
重点プロジェクト	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	評価時期	<input checked="" type="checkbox"/> 中間 <input type="checkbox"/> 事後
		事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治 <input type="checkbox"/> 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	5-4 水産食品製造業の振興
	施策目標	豊かな水産資源を生かした水産食品製造業が盛んなまち

2 事務事業の概要と目的

対象	事務や事業が対象としている人や団体など	市内水産加工企業、市内漁業協同組合
	対象者の今後の予想	増加
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	根室市水産加工振興センターの施設設備と加工機器の充実・導入を図ることにより、根室産水産加工食品の商品開発拠点として、市内事業者によるマーケットニーズに対応した付加価値の高い水産加工食品の開発と生産を促進させる。	
意図 (どのような成果を得ようとしているのか)	市内事業者の施設利用増加により、市内事業者による品質の高い根室産水産物の商品開発力及び製造生産力、販売促進力を向上させる。	

3 事務事業の現状

活動指標名	計画値(R1)	実績値					目標値(R2)	目標値(R7)
		H28	H29	H30	R1	R2		
1 適正に管理する施設	1施設	-	-	-	-	1施設	1施設	1施設
2 水産加工振興センター施設利用者人数	-	375人	480人	487人	474人	545人	421人	488人
3								
4								
事業費(=下記内訳計)		R2予算		R2決算		R3予算		
		1,863		1,793		2,900		
内訳	国道支出金							
	地方債							
	その他	1,800		1,793				
	一般財源	63				2,900		
人員(人工)		0.10		0.10		0.20		
職員人件費(=人員(人工)×7,673千円)		767		767		1,535		
総事業費(=事業費+職員人件費)		2,630		2,560		4,435		
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)		2,630		2,560				
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)		5		5				

#### 4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善済み <input type="checkbox"/> 見直しをしたが改善に至っていない <input type="checkbox"/> 検討していない
見直しの内容など	品質の優れた根室産水産加工品を開発し、消費者への提供に資する事業であるが、事務事業の効率化と成果向上のため、類似事業との連携が必要である。
今後の動向・市民ニーズなど	優れた品質の根室産水産物の開発活動は、市内水産加工業者にとっても重要な課題であるため、市民ニーズはある。

#### 5 事務事業の評価

ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	<input type="checkbox"/> 結びついている <input checked="" type="checkbox"/> 一部結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない 品質の優れた根室産水産加工品を開発し、消費者への提供に資する事業であり、事業の一定の有効性は認められる。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか (民間、NPO等)	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 一部可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 企業における商品開発活動を支援するため、市が実施すべきである。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 一部ある <input type="checkbox"/> ない 品質の優れた根室産水産加工品を開発し、消費者への提供に資する事業であるが、事務事業の効率化と成果向上のため、類似事業との連携が必要である。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 一部ある <input type="checkbox"/> ない 各種補助・助成事業の活用を検討。
オ. 他の事業との統合について可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 商品開発拠点としての施設整備であることから、他事業との統合は考えにくい。
カ. 受益者に負担をいただく (又は負担を見直す) 可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 検討の必要性がある <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 既に負担がある 商品開発向上を課題としている事業者を対象としており、受益者負担は困難である。

#### 6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続 ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 手段を見直す <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化 <input type="checkbox"/> 統合・振替) <input type="checkbox"/> 終期設定あり (R 年度末終了予定) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
--------	---

作成年月日

令和3年6月

## 別紙1

## 事務事業評価(中間評価)シート【令和2年度】

主管課名(担当名)	水産振興課(水産振興担当)		
事務事業名	外来漁船誘致経済効果誘発促進事業	事業番号	10156
重点プロジェクト	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	評価時期	<input checked="" type="checkbox"/> 中間 <input type="checkbox"/> 事後
		事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治 <input type="checkbox"/> 法定受託

## 1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	5-4 国際漁業対策
	施策目標	安全で安定した操業が持続できる国際漁業環境の実現を目指すまち

## 2 事務事業の概要と目的

対象	事務や事業が対象としている人や団体など	外来漁船員
	対象者の今後の予想	減少傾向
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	①新たに漁船を造船し、花咲港へ入港実績のある船主に対し、市理事者及び漁協役員において外来漁船誘致の観点から「トップセールス」を行い、入港隻数の増加を目指している。 ②外来漁船員限定の「市内銭湯無料入浴券」「市内お食事サービス券」「根室水産協会朝食券」を綴りこんだ入港歓迎リーフレットを配布することで、外来漁船員を市街地へ誘引し、市中経済の活性化を図る。	
意図 (どの様な成果を得ようとしているのか)	新規外来漁船の誘致を行うことで、当市の水揚増加はもとより、外来漁船員による交流人口の拡大が図られ、延ては、地域経済の活性化への期待が高まる。	

## 3 事務事業の現状

活動指標名	計画値 (H27)	実績値					目標値 (R2)	目標値 (R7)
		H28	H29	H30	R1	R2		
1 新規外来漁船入港隻数	2隻	2隻	4隻	3隻	37隻	9隻	10隻	20隻
2 無料入浴券	1,000枚	623枚	364枚	2,162枚	2,770枚	1,925枚	1,100枚	1,200枚
3 市内お食事サービス券	-	-	80枚	164枚	634枚	471枚	200枚	300枚
4 根室水産協会食堂朝食券	-	-	-	97枚	432枚	273枚	150枚	200枚
事業費(=下記内訳計)		R2予算		R2決算		R3予算		
		22,338		22,338		22,338		
内訳	国道支出金							
	地方債							
	その他	22,338		22,338		22,338		
	一般財源							
人員(人工)		0.08		0.08		0.08		
職員人件費(=人員(人工)×7,673千円)		614		614		614		
総事業費(=事業費+職員人件費)		22,952		22,952		22,952		
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)		2,550		2,550				
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)		12		12				
単位コスト実績値 3(=総事業費÷成果実績値)		49		49				
単位コスト実績値 4(=総事業費÷成果実績値)		84		84				

#### 4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善済み <input type="checkbox"/> 見直しをしたが改善に至っていない <input type="checkbox"/> 検討していない
見直しの内容など	①平成29年度より、これまで利用実績の乏しかった「ワンドリンクサービス券」を廃止し、新たに「お食事サービス券(1,000円分)」に拡充した。 ②平成30年度より、漁船員から好評を得ていた「無料入浴券」の配布枚数を「1枚」から「3枚」へ拡充した。 ③平成30年度より、早朝に水揚げを行った漁船員の福利厚生充実を図るため、根室水産協会食堂における「無料朝食券」を配布した。
今後の動向・市民ニーズなど	サケマス流し網漁業禁止による漁獲量の減少や、近年の主要魚種の不漁などから、当市における水揚げの取扱いが減少傾向にあるなか、外来漁船により、一定程度水揚げが行われることは、原魚不足に悩む水産加工業をはじめ、関連産業への原魚確保の観点からも、市民ニーズは極めて高い。

#### 5 事務事業の評価

	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 一部結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	全国的に水揚量が減少傾向にある中、当市においては、外来漁船の入港により一定程度の水揚げが確保されていることに加え、外来漁船員に配布している各種サービス券の利用状況も増加傾向にあり、市内の飲食店、銭湯からも称賛の声が多く寄せられ、市中経済の活性化に寄与しているものと評価する。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか(民間、NPO等)	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 一部可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 市中経済に波及する事業であり、従前通り、市が事務局として先頭に立ち実施する必要がある。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 外来漁船員はもとより、市内の飲食店や銭湯からも大変好評であり、同様に実施すべきと考える。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 現状ではない。
オ. 他の事業との統合について可能性がありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 現状ではない。
カ. 受益者に負担をいただく(又は負担を見直す)可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 検討の必要性がある <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> 既に負担がある 既に、加盟団体より負担金を徴している。

#### 6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続 ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 手段を見直す <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化 <input type="checkbox"/> 統合・振替) <input type="checkbox"/> 終期設定あり (R 年度末終了予定) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
--------	---

作成年月日

令和3年6月

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【令和2年度】

主管課名(担当名)	水産加工振興センター(水産加工振興センター担当)		
事務事業名	沿岸漁業資源利活用研究開発事業(加工流通)	事業番号	12679
重点プロジェクト	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	評価時期	<input checked="" type="checkbox"/> 中間 <input type="checkbox"/> 事後
		事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治 <input type="checkbox"/> 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	5-4 水産食品製造業の振興
	施策目標	豊かな水産資源を活かした水産食品製造業が盛んなまち

2 事務事業の概要と目的

対象	事務や事業が対象としている人や団体など	市内水産加工企業、市内漁業協同組合
	対象者の今後の予想	増加
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	①沿岸漁業資源や低・未利用魚種を活用した付加価値の高い商品と利活用技術の開発活動 ②非破壊型脂質測定技術を活用した根室産水産物の付加価値向上と地元漁業者・漁協によるブランド化に向けた取組みの支援	
意図 (どのような成果を得ようとしているのか)	沿岸漁業資源や低・未利用魚種を活用した付加価値の高い商品開発と地元漁業者・漁協による地域特産魚種のブランド化の推進による商品化が実現することにより、新たな市場開拓・拡大が期待できる。	

3 事務事業の現状

活動指標名	計画値(H27)	実績値					目標値(R2)	目標値(R7)
		H28	H29	H30	R1	R2		
1 水産加工食品の試作品件数	-	-	3件	5件	6件	7件	5件	7件
2								
3								
4								
事業費(=下記内訳計)			R2予算		R2決算		R3予算	
内訳	国道支出金	※再掲(事業費は5-2で計上)						
	地方債							
	その他							
	一般財源							
人員(人工)								
職員人件費(=人員(人工)× 7,673 千円)								
総事業費(=事業費+職員人件費)								
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)								
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)								

#### 4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善済み <input type="checkbox"/> 見直しをしたが改善に至っていない <input type="checkbox"/> 検討していない
見直しの内容など	市内水産加工企業や地元漁業者・漁協による商品化実現に向けて、技術移転手法と合わせて、販路開拓の取組みを視野に入れた事業者連携の強化が必要である。
今後の動向・市民ニーズなど	沿岸漁業資源や低・未利用魚種を活用した付加価値の高い商品開発と地元漁業者・漁協による地域特産魚種のブランド化の推進による商品化が実現することにより、新たな市場開拓・拡大が可能となるため、市内水産加工業界や漁協関係からのニーズはある。

#### 5 事務事業の評価

	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 一部結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	開発された商品や加工技術について、市内水産加工業者及び地元漁協等に対しての技術指導・支援による商品開発とブランド化に向けた活動を推進するとともに、研究成果については、市内水産加工業者や地元漁協等に対して情報提供と技術移転を図り、連携強化にも努めている。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか (民間、NPO等)	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 一部可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 市内水産加工業者に対する商品開発力及び加工技術力向上のための支援事業であり、市が主体的に実施すべきである。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 一部ある <input type="checkbox"/> ない 市内水産加工業者による商品開発力向上及び商品化実現に向けての情報提供と技術移転の手法の検討が必要にある。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input type="checkbox"/> ない 各種補助・助成事業の活用を検討。
オ. 他の事業との統合について可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 一部ある <input type="checkbox"/> ない 根室市沿岸資源利活用ビジョンに基づいて事業を実施しているが、ビジョンの取組み方針に合致していれば、他の事業を統合することも考えられる。
カ. 受益者に負担をいただく (又は負担を見直す) 可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 検討の必要性がある <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 既に負担がある 技術開発及び技術移転の段階、商品化実現に向けた連携段階にあるため、現状では受益者負担は困難である。

#### 6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続 ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 手段を見直す <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化 <input type="checkbox"/> 統合・振替) <input type="checkbox"/> 終期設定あり (R 年度末終了予定) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
--------	---

作成年月日

令和3年6月